

月刊 新翔タイムズ

第88号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社

汗と笑顔はじける

第9回新翔体育祭盛大に



当初危がまっていた天候も結果的に終日秋晴れに恵まれた10月16日、平成27年度新翔高校第9回体育祭が盛大に行われました。本校の今年のスタイルは全学年が縦割りに赤・青・緑・黒の4ブロックに分かれての対抗戦。「汗と笑顔 Pricelles」がある「勝ち」が買えない。勝ちが買えないというウイットに富んだポジティブな体育祭テーマのもと、リレー(クラス対抗)、ブロック対抗など、団体戦(大縄跳び、綱取り、綱引き)、応援パフォーマンスなどのブロック対抗競技で元気がいっぱい競い合いました。

特に応援コンクールでは各ブロックとも早い段階から3年生が下級生たちをまとめる活動がリードし、その成果として制限時間7分間のうちに競い合いました。

選抜体育受講生による「熊野ハレヤ音頭」(2年)、熊野ハレヤ音頭(3年)、新宮秋祭りでも披露、オリジナルの振り付けによる全校ウォークダンス、全クラブ紹介パレードなどを織り交ぜながら「新翔体育祭」ならではの汗と笑顔がフレッシュにはじける一日となりました。

各ブロック代表生徒のコメントは別枠の通り。



赤ブロック代表 安井瑛和さん

今回の4人のブロック長の中では女子1人でしたので少しイヤでした。いろんな不安の中でのブロック練習でしたが、ブロック長をしたからこそ今回の体育祭はすごくいい思い出になり、すごい達成感でした。赤ブロックのみんなに感謝します。

緑ブロック代表 小西恒稀君

ブロック長をやらせてもらって多少のハプニングはありましたが、練習してきたことができ、これまでで最高の体育祭でした。また、1、2年生は来年、これを超越する体育祭をしてほしいです。

青ブロック代表 坂 礼晟君

印象に残る素晴らしい体育祭になってよかったです。優勝もできていい思い出になりました。来年の体育祭もがんばりたいです。あっ、今年で卒業やった。

黒ブロック代表 汐崎里紗さん

とにかく最高でした♡ 総合優勝はできませんでしたが、一緒に盛り上げてくれた後輩たちのおかげで本当にいい思い出ができました。ありがとう!!

熊野ハレヤ節堂々と披露 新翔連が新宮秋まつりで



10月11日に行われた今年の新宮秋まつり「創作ダンス」の部に、新翔3年生が登場、体育の授業で取り組んできた「熊野ハレヤ節」を堂々と披露、練習の成果を勇壮なパフォーマンスで体現し、沿道の人々を楽しませました。

えりと鉢巻に赤をあしらった漆黒の法被という「落ち着いた派手さ」をたたえた黒装束のいでたちで颯爽(さっそう)と登場した「新翔連」は、3年生体育選択科目「生涯・競技スポーツ」選択生45人プラス指導してきた体育科教員3人の総勢48人。鳴り子の音色

「熊野ハレヤ節」とは？

『熊野と熊野古道をテーマにした踊り』・YOSAKOIソーラン踊り普及曲。歌詞は熊野古道の世界遺産登録をPRするため平成13年に一般公募され、三重県南牟婁郡在住の岩崎道子さんの作品「幾千の森」から採用されました。ノリの良さを全面に打ち出した「音頭」、スタイリッシュにピート感を出した「節」があります。

本校では2年生選抜体育の授業で「熊野ハレヤ音頭」を、3年生の選択で「熊野ハレヤ節」を学習し、「新宮秋祭り」や「体育祭」等で毎年その成果を発表しています。(参考: http://okukumano.com/hareya_dvd/index.html)

「選挙には必ず行きます」 県政おはなし講座で模擬選挙

10月21日午後、3年生「総合的な学習の時間」を用い、県政おはなし講座を兼ね、選挙の意義を学ぶ講座として、選挙出前講座を実施しました。県立高校では新宮高校、和歌山高校に次いで県下で3番目の実施となる

この講座、前半はキャリア実習室で和歌山県選挙管理委員会の泉輔さんを講師に、「選挙の種類」や「投票率の現状と問題点」についての講義を受けました。後半は体育館に場所を移し、模



擬候補者(3年担任丸山先生が「高齢者福祉の充実」、同じく別所先生が「観光立県わかやま」をそれぞれ政策としてマニフェスト対決)の演説を聞いた後、実際の投票箱などを用いて130人全員が選挙を疑似体験しました。来年夏の参議院選からの18歳選挙権適用に向け、選挙を身近に感じ、その大切さを知る上

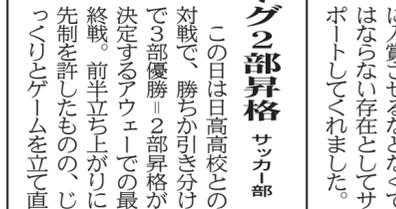
も高らかに、市内中央通り交差点付近、市役所前、ユアホテル前それぞれポイントで計3回、授業で6月半ばから練習に励んできた勇壮で

「選抜には必ず行きます」 県政おはなし講座で模擬選挙

10月4日に県U-18ジャンプリーグ サッカー部

この日は日高高校との対戦で、勝ち引き分けとなり、その結果今期13勝3敗2分勝ち点41となり2位の貴志川高校を勝点でわずかながらかわし、優勝が確定、来期

後半に同点、さらに逆転に成功。最終的にはいつか2-2で引き分けとなり、その結果今期13勝3敗2分勝ち点41となり2位の貴志川高校を勝点でわずかながらかわし、優勝が確定、来期



2部昇格の切符を獲得することができました。サッカー部の今後のさらなる飛躍に期待したいと思います。

なお、10月24日に開幕した第94回全国高等学校サッカー選手権大会1回戦では、県立和歌山商業高校と対戦、残念ながらPK戦の末敗退、2回戦進出はできませんでしたが、

紀の国わかやま国体終了

10月6日に「天皇家1位」「皇后杯2位」という輝かしい成績で閉会を迎えた紀の国わかやま国体。ほとんどの競技において競技をサポートしてくれた県下の高校生補助員のおかげで、4年ぶりの大イベントを成功裏に終えることができました。

本校からも競技補助員として、北山村でのカヌー競技に4日間のべ242人、やたがらすサッカー1場での女子サッカーに2日間のべ40人、サン・ナンタランドでのラグビーに3日間のべ51人、那智勝浦体育文化会館でのレスリングに5日間のべ50人、とたくさんの方々が参加協力してくれました。

慣れない中にもそれぞれ役割をしっかりとこなし、大会運営を支えてくれました。あらためて協力してくれた生徒の皆様へ、ありがとうございます。

競技ではボウリング競技少年女子の部で出場していた本校1年生赤田稀歌さんが、団体戦で見事

6位入賞を果たしました。個人戦では十分に力を発揮できずまいでしたが、和歌山市立西脇中学校・伊勢川華愛さんとペアで挑んだ団体戦で、みごと6位入賞(9点を果たし、総合優勝にしっかりと貢献してくれました。

また保健体育科の得津先生は選手としての出場はなかったものの、「チーム和歌山」の一員として、7人制ラグビーの魅力を伝え、チームを3位入賞させるなどなくてはならない存在としてサポートしてくれました。

11月は毎年県下の公立校で「きのくに」学び月間が実施されます。本校でも以下の公開行事を予定していますので、保護者の方々、地域の皆さま方には振るってのご参加の方、よろしくお願いたします。

■きのくに学び月間

11月(土)文化祭(七海祭) 一般公開 午前10時~午後2時

12月(土)文化祭(七海祭) 一般公開 午前10時~午後2時

12月(土)文化祭(七海祭) 一般公開 午前10時~午後2時

12月(土)文化祭(七海祭) 一般公開 午前10時~午後2時